

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成25年(2013)12月10日

No. 72

発行 高津啓洋

めぐりの森植樹祭に参加



協働参加型めぐりの森づくり推進協会主催の「第8回めぐりの森植樹祭」に湘南支部の奥平支部長を中心に当会メンバーの10人が参加しました。強い風が吹き付け、今にも雨の降りそうな天気の中、植樹祭が始まりました。

大きなステージトラックの前に、植樹リーダー(植生工学士)らを

中心に班分けされ、植生工学士でもある奥平も5班の班長となり植樹を開始しました。

会の最初に、宮脇昭先生の話があり、特に、神奈川県湘南海岸に森の防潮堤を作りたいとのお考えで、毎回この植樹祭に参加されている黒川副知事を激励されていました。

宮脇先生は、大きな声で「タブノキ!」「アラカシ!」「アカガシ!」「ウラジロガシ!」「シイノキ!」等々と木の名前を言われ、壇上と会場が呼応して皆に木の名前を覚えさせてから、シャベルと苗をもって、植樹の方法を分かりやすく説明をしていました。

なんと5班は宮脇先生、カナダの分子生物学の先生、市川海老蔵さんが一緒となって、植樹をしました。(奥平)



レダで元気に育つニーム

現在、レダには多くのニーム(ニームは学名を Azadirachta indica)が植えられています。皆様からの支援金が具体的に、レダだけでなく、周辺の地域の街路樹等にもニームの木が植えられてきました。

来年のカレンダーは、立派に育つニームの森が中心になっています。また、話題としては、今年の5月3日パラグアイのフランコ大統領がニームを植樹しました。今もすくすくと成長しています。カレンダーの上部にはフランコ大統領が植樹をした写真も載っています。

ニームについて以下に記しますので、さらに興味を持たれた方は、

参考文献などもお読みいただくと思います。

日本には、当会と懇意にしている、ニームに関しての多くの指導を受けている、日本ニーム協会の稲葉眞澄会長の著書「ニームは地球を救う」(¥1500 amazon調べ)が最適でしょう。

既報でニームはフォレストニュースにも記されていますが、ニームを活用した、歯槽膿漏にもやくだつ歯磨き、また石鹸、自然食品への活用でクッキーやニーム茶なども製品化されています。

また、自然農薬のように使われるように、製品化されています。(現在、日本では農薬として認証されていませんが、アメリカではすでに農薬として認可されています。)

レダでも、防虫用として一部活用されています。

今年もあと1か月を切りました、お忙しい師走を過ごされていることと思います。地球の緑を守る会も、来年を素晴らしい植樹年となるよう頑張ります。



私達の手で豊かな自然を守る

2014 (平成26年)

世界に広げよう植樹の輪